

石神井川上流地下調節池整備事業

説明資料

令和5年11月27日

目次

1. 流域及び河川の概要
2. 過去の水害実績
3. 整備の考え方
4. 石神井川上流地下調節池の概要
5. 事業の投資効果

1. 流域及び河川の概要

■ 河川延長 25.2km

■ 流域面積73.1km²



西東京市下野谷橋付近



練馬区都営南田中団地付近



板橋区加賀緑橋付近

2. 過去の水害実績

■過去10年間における浸水被害

年月日	面積(ha)	浸水棟数 (棟)			原因
		床下	床上	合計	
平成25年8月12日	0.11	6	4	10	内水
平成25年8月21日	0.31	20	45	65	
平成26年6月24～25日	0.03	3	2	5	
平成26年6月29日	0.08	1	11	12	
平成26年7月24日	0.35	11	5	16	
平成28年7月14日	0.03	1	14	15	
平成28年8月21～22日	0.04	1	1	2	
平成29年8月19日	0.18	11	14	25	
平成30年8月27日	0.16	12	28	40	
平成30年9月18日	0.37	5	40	45	
令和元年10月12～13日	0.03	1	4	5	
令和2年7月23日	0.00	0	1	1	

※ 50㎡未満の水害記録については0.00haと記載している。

※床上棟数は地下浸水を含む。

3. 整備の考え方

■目標

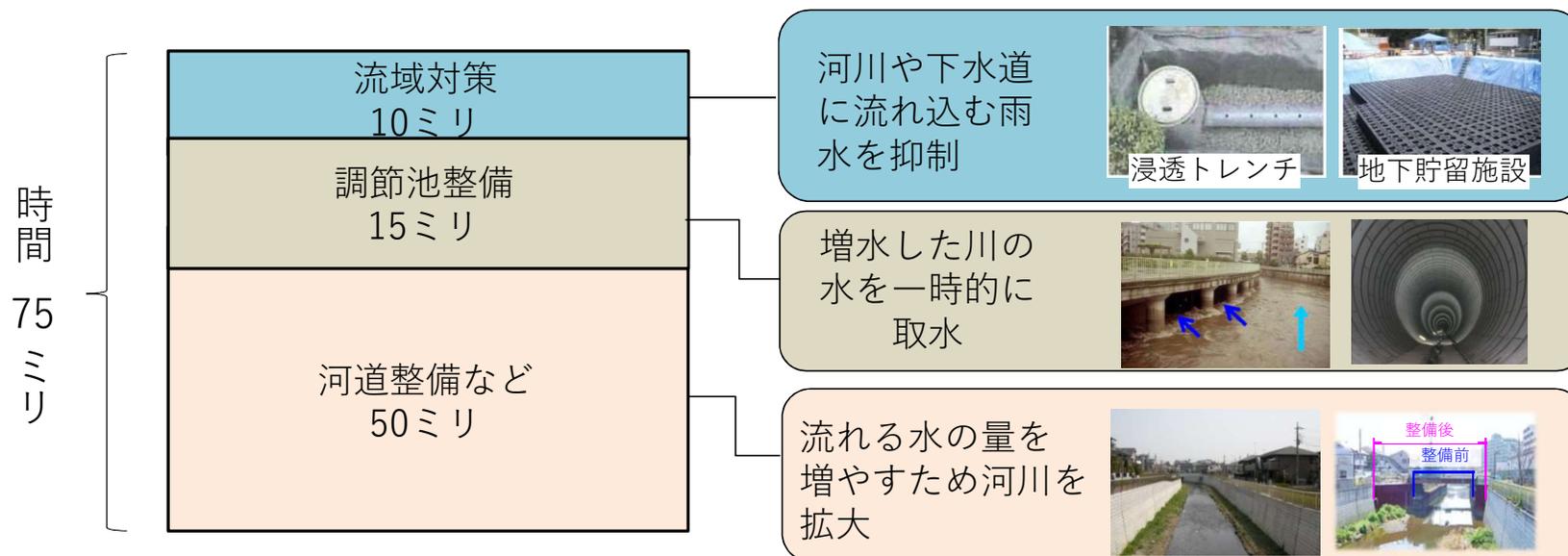
- ・年超過確率1/20の規模の降雨に対応
※石神井川：時間最大75^{ミリ}降雨

■効果

- ・既往最大の浸水被害をもたらした狩野川台風規模の豪雨
- ・時間100^{ミリ}の降雨でも、局地的かつ短時間の集中豪雨

■整備の考え方

- ①時間50^{ミリ}降雨までは河道整備により対応
- ②時間50^{ミリ}を超える降雨は新たな調節池及び流域対策で対応



4. 石神井川上流地下調節池の概要

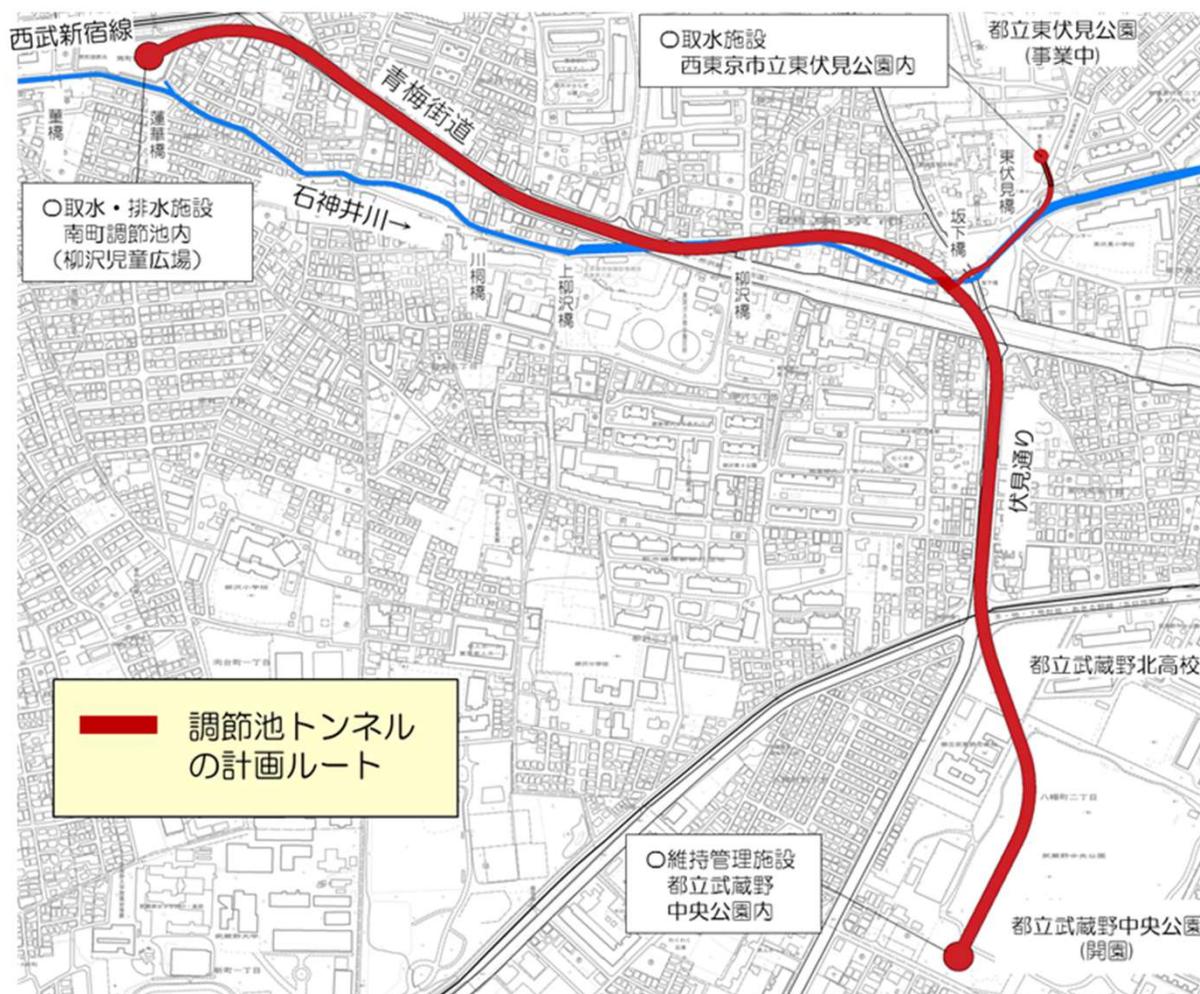
■概要 青梅街道や伏見通り等の地下を活用した地下トンネル式調節池

■経緯 平成28年3月 河川整備計画変更（調節池を位置付け）

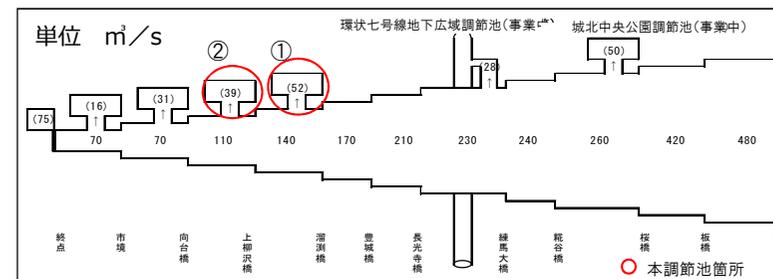
令和4年3月 都市計画決定



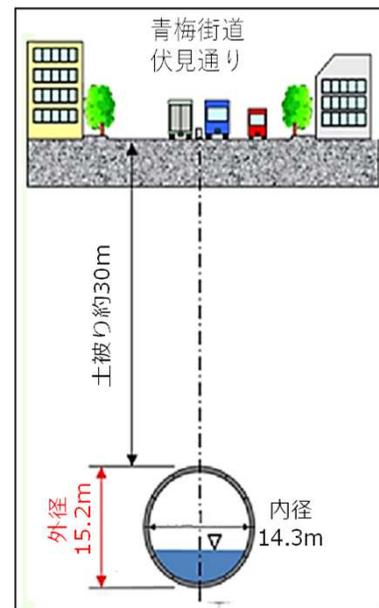
■平面図



■流量配分図



■断面図



■諸元

内径	14.3m
延長	約1.9km
貯留量	約30万 m^3
設置 深さ	地下約30m

4. 石神井川上流地下調節池の概要

■イメージパース



南町調節池

- 到達立坑
- 本管トンネル到達
- 取排水施設
- 管理棟

東伏見公園

- 連絡管立坑
- 連絡管トンネル発進
- 取水施設
- 管理棟

武蔵野中央公園

- 発進立坑
- 本管トンネル発進
- 管理棟

5. 事業の投資効果

■費用対効果

算定方法と結果

- 「治水経済調査マニュアル（案）」に基づき算出
- 洪水氾濫による直接的・間接的な被害のうち現段階で経済的に評価可能な被害（家屋、農作物、公共施設等）の防止効果を便益（B）として評価
- 事業費（C）は本調節池事業を実施する費用及び施設の維持管理に要する費用を算定
- 便益及び費用は評価時点を基準時点とし、整備期間+施設完成後約50年間を評価対象期間として算出

	便益（B）	費用（C）	B/C
石神井川 上流地下調節池	1,154億円	877億円	1.31